

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <https://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

11

November, 2018

vol. 417

Contents

建築探訪…01

会員仕事紹介…03

支部だより…05

旅行記…07

全国大会報告…09

編集者のつぶやき…10



温泉街の町並み ～修善寺温泉と有馬温泉～

アイ建築設計事務所 石川 勝彦

たまたま時を空けず二か所の温泉地を訪ねる機会に恵まれた。静岡県修善寺温泉と兵庫県の有馬温泉である。

桂川を中心に温泉街が形成される修善寺温泉には、その中央にシンボリックな存在の『独鈷の湯』がある。弘法大師が噴出させ静岡県最古の温泉とも言われ、かつては入浴できたようだが、現在は法律上の浴場ではないようで、足すら浸けることができない。温泉街の中には立派なお寺があり、その名も修善寺という。調べてみるとともに『修善寺』といい、件の弘法大師

が開いたそうである。桂川沿いには遊歩道が整備されていて、散策にはうってつけだ。特に竹林は一見の価値がある。透明感のある緑の若竹に囲まれ、ふと見あげると、青々とした空がぽっかり切り取られていて、清々しい。この地でたくさんの文豪が執筆に精をだしたのもわかる気がした。紅葉の季節もきっと見事に違いない。温泉は単純アルカリ泉というらしいが、ほのかに塩味がして、肌もさっぱりとした感じである。近くにはワサビ田で有名な浄蓮の滝や天城峠もあり、のんびりと過ごしてほしい。

1



独鈷の湯



掛川



竹林の小道



掛川から橋を臨む

兵庫県三ノ宮駅からバスでわずか30分も行けば、日本書紀にも出てくるという日本最古の温泉に到着する。温泉街の中心には有馬川が流れていて、ねね橋と太閤橋が架かっている。その名も有馬温泉。プラタモリで紹介されてから、一度は行ってみたいと思っていた。外湯の『金泉』はその名の通りの黄金色。肌にべっとりとまとわりつくようなトロットしたお湯だ。うっかり白いタオルで拭くと、茶色くなってしまうほどでびっくりした。『銀泉』の方は炭酸泉とのことだったが、スーパー銭湯の炭酸泉に慣れてしまった凡人にはよくわからなかった。付近のお土産屋には炭酸泉にかけ

て『炭酸ソーダ』や『炭酸せんべい』が売られていて、どこも観光客で賑わっていた。こちらは今頃は見事な紅葉で観光客の目を楽しませていることだろう。

有馬温泉と修善寺温泉、どちらも歴史的にも有名なそして温泉としても最高の温泉地。山間の川の両側に並ぶ風情ある温泉宿や土産物店。中心にはお寺や神社。川に架かる橋。共通しているものが多いと感じるのは気のせいだろうか・・・



有馬温泉中心部



赴きある温泉街



金の湯



メイン通りから入った路地

次世代のために

少子高齢化が進んでいる現在、少しでも貢献できることがあればという意識の中、事務所を設立してまだ数年ですが、当初より子どもの施設設計を主体として海老名市にて活動させて頂いております。

今回は弊社が携わらせて頂きました、今年の春に開園した園をご紹介させて頂きたいと思います。

■柏の葉こども園（千葉県柏市）

用途：幼保連携型認定こども園 定員240名

株式会社SAIplus建築設計事務所 サイプラス 仙波 弦

この園舎は市の区画整理事業における分割地に新築された建物で、限られた敷地の中で如何に「子供たちの生活、遊びの空間を有効的に作り出し、のびのびとできる空間づくりをしていくか」という事を課題として設計を進めた園になっています。



〈特徴〉

園舎の設計の際、取り組んだ内容として、廊下等、移動のための空間を排除し、関係する諸室が直接つながるよう平面構成を工夫しています。

具体的にはホールを中心として保育室、園庭などの「遊びの空間」、調理室、ランチルーム、乳児室などの「食の空間」を直接つなげて、遊び・食が滑らかにつながるように提案し、実現しました。

建物1階・2階の中心にホールとランチルームをそれぞれ設け、その周りに「遊びの空間」と、「食の空間」を配置しました。





Pic.1) 建物の中心にあるホール・ランチルーム

ホールからは階段を通じて直接園庭に出ることができます。また、ホールとランチルームも階段でつながっています。



Pic.2) ホールから園庭へつながる窓

pic.3)
上下階のホールと
園庭を結ぶ階段

ランチルームには調理室がのぞける窓があり、子供たちが調理している様子を見ることで食への関心生まれる「食育」の要素を取り入れています。



pic.4) 調理室が見える窓

〈総括〉

ホールと保育室、ランチルームが直接つながっていることで、日々の遊びが保育室内に止まらずにホール、園庭へとつながり、のびのびとした遊びが生まれました。

生活に欠かせない食との関わりも、ランチルームに設けたのぞき窓から調理の様子を見たり、子供たちの食への関心を生み出す仕掛けとなりました。

これらは廊下をなくし、遊びと食をつなげた結果、子供たちの動きが活発になった結果と考えています。

■園舎の設計を通じて、次世代の人たちが育っていく建物をお手伝いさせて頂いているという点がとてもありがたいと、特に感じます。また同時に身が引き締まる思いでもあります。

これからも引き続き少しでも貢献できるよう頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。



pic.5) ランチルームに直接配膳できる窓とカウンター

茅ヶ崎寒川支部だより

青木建築設計事務所 青木 徳幸

9月25日 第100回茅ヶ崎市耐震改修推進協議会
に出席

愛称は「茅ヶ崎たいあっぷ95推進協議会」。当協議会（毎月1回開催）の構成委員数は市民、事業者、行政の担当者の17名です。当支部より6名が協議会委員として参加しています。当日は危険ブロック塀の安全対策に関することも議題に上がり、ブロック塀の改修工事のために茅ヶ崎市から助成制度の説明がありました。

9月26日 無料住宅相談会（毎月1回公民館、コミュニティホール等にて開催）

今回は、茅ヶ崎市役所1階のホールにて開催しました。当日（開催時間10時から16時まで）の相談委員は当支部会員4名、受付は市役所の職員2名にて対応しました。最近の大災害の発生により相談者数は非常に多い17人となりました。住居の耐震に関する相談者が大多数です。他に新築住宅のカビ発生の原因の相談。建て替えか耐震改修か判断基準の相談です。公民館等の無料住宅相談会（開催時間13時から16時まで）に来られる相談者は平均して2人か3人です。

寒川町は無料木造住宅耐震相談会（開催場所は町役場内）を毎月1回実施しています。相談者は申込制になっております。申込者の無い時は中止となります。相談者は年間で数名です。

9月28日 支部役員会を茅ヶ崎市市民勤労会館にて開催、参加者6名

本日の議題は本会主催のスポーツ大会の打ち合わせ、寒川町産業まつり（開催日11月18日）での当支部の担当行事（耐震相談、家具転倒防止対策等）の打ち合わせ、支部講習会の実施について、茅ヶ崎市空き家対策推進協議会に当支部会員1名派遣の依頼があり1名を決定しました。

役員会終了後の雑談にて出席者の近況報告がされました。既存住宅状況調査の依頼をされ数件の調査を実施したことの報告は興味深く聞きました。役員会終了後の雑談は会員相互の仕事の悩み等の相談会になるのではないかと思います。

支部会員の皆様の支部企画事業提案と支部活動に参加協力をお願いいたします。



茅ヶ崎たいあっぷ95推進協議会



住宅相談会



支部役員会

県西支部だより

県西支部長 一級建築士事務所長谷川設計 長谷川 匡

◆神奈川県最西端「行列の出来る店」◆

今回は湯河原町の「行列の出来る店」と「注目される店」をご紹介します。

湯河原町は人口24000人程度の小さな町ですが、飲食店や小売店の地域密度は非常に高く、各店舗の経営が成り立つ事を何時も不思議に感じています。

そんな中でも各メディアで取り上げられている店舗をご紹介します。

最初にご紹介するのは、「らぁ麺屋飯田商店」さん。

常に行列が出来ていて、麺が品切れになるとその時点で閉店になる、こだわりのお店です。



マルちゃんとコラボでカップ麺も販売しています。

二番目にご紹介するのは、行列の出来るパン屋「BREAD&CIRCUS」さん。

パン屋さんの人気投票All About「ベストパン」にて、永久ベストパン店として認定された、天然酵母のハード系食事パンや個性的な焼き菓子が人気のお店です。



三番目にご紹介するのは、魚屋なのにシフォンケーキが美味しい「かまとら」さん。

お嫁ちゃんのシフォンケーキと銘打って販売をしていますが、金曜日～日曜日の限定販売で朝の7:30から行列が出来そうで、朝が苦手な私はその行列を撮影する事が出来ませんでした。



最後にご紹介するのは、豆腐屋の「十二庵」さん。

こだわりの豆腐、ゆば、揚げ豆腐はもちろんですが、豆乳とおからを使った焼きドーナツが揚げドーナツとは違う、さっぱり、しっとり、もちもち感が好評です。

私のお気に入りにはプレーンですね！

このお店は他にも、豆腐を上手に使った、食事処とカフェも営んでいます。



簡単にご紹介だけになりましたが、詳細は検索して頂き、是非、湯河原へお越し下さい。

魅力溢れるポルトガルへ！

アトリエライヴズ一級建築士事務所 田中 敦史

昨年の7月に9日間の日程で訪れたユーラシア大陸最西端の国ポルトガル。カステラや金平糖、鉄砲やキリスト教等、日本の歴史や文化に大きく影響を与えているにも関わらず、馴染みの薄いこの国に対する興味が沸いた事がきっかけでした。

行程の前半はテージョ川に面した首都リスボンに滞在し、大阪の海遊館設計でお馴染みのピーター・シャーメイエフ設計のリスボン水族館や、ポルトガルの建築家アルバロ・シザ設計のリスボン万博ポルトガル館等の近代建築があるネーションパーク周辺を皮切りに、大航海時代の繁栄を色濃く残すベレン地区では世界遺産でもあるベレンの塔やマヌエル様式の最高傑作とも言われるジェロニモス修道院を散策しました。1902年に建築され、リスボンのランドマークにもなっているサンタ・ジュスタのエレベーターは周囲の構造は鉄骨、エレベーター本体は木製でできており、今でも45mの高低差を運行しています。最上部の展望台は周辺のバイシャ地区を一望できる人気スポットで、たまたま居合わせたインド系の女性が「高いところは苦手」と恐がりながらも景色を楽しんでいたのが印象に残っています。このエレベーターのすぐ裏にあるカルモ教会は、1755年のリスボン地震で大きく崩れ、今でも崩れた当時の様子のまま博物館になっています。日本もポルトガルも地震のリスクは同じようにあるので、建物の耐震性など興味は尽きませんでした。

旅の後半に訪れたのはリスボンから北へ約300kmに位置する、ドウロ川に面したポルトガル第二の都市ポルト。ポルトガルの語源となった都市だけあってリスボンよりも更に古い歴史感のある街並みと美しいアズレージョが魅力です。ポートワインの産地としても有名なこの場所には、ドウロ川沿いに多くのワインセラーが立ち並び、見学することもできます。私たち夫婦はなぜかフランス語の見学ツアーに参加することになり、まったく解らないながらも知ったかぶりで通し、試飲

までやり通しました（笑）。

かつてワインを運んだ帆船が多く係留されている護岸に腰かけ見上げたポルトの街並みは、息をのむほど色に溢れて可愛らしく、日本の都市とは違う温かい光に包まれるんびりした空気を感じる事が出来ました。

ポルトガルは近年定年後の移住先として非常に人気が高まっているそうですが、実際に訪れてみて納得しました。とにかく人が明るくて親切。



リスボン水族館



ベレンの塔

そして“せかせか”していないのです。色んなことが良くも悪くも適当（笑）。しかも、食事が美味しくて安い。卵が大好きでお米も食べる。日本食との親和性もバッチリですが、個人的にはなんといっても『鰯』。大好きな鰯の塩焼きと茹でたジャガイモのマリアージュが最高でした。ただ、ひとつ難点は夏が暑いこと。今年は45℃を超えたとか。リタイアメントビザでは体力が持つかどうか心配です。



アズレージョ貼りの教会



サンタ・ジュスタのエレベーター



ドウロ川に面したポルトの風景



エッグタルトは最高！



日本人好みの様々なグルメ

全国大会報告

全国大会（東京大会）のご報告

去る10月5日、東京 帝国ホテルにて日事連の全国大会が行われました。今回は佐々木日事連会長になって初めての大会であり、石井国交省大臣をはじめ住宅局長、関係国会議員の方々を来賓に迎え華々しく開会しました。

我が神奈川会の注目は平成30年度 日事連建築賞の発表と年次功労者表彰の二つです。

一般建築部門の奨励賞に「昭和女子大学付属 昭和こども園」の納谷建築設計事務所、小規模建築部門の奨励賞に「邸宅型葬儀場 光の邸宅」の(株)曾根靖裕デザイン事務所が選ばれました。（詳細は会報日時連10月号参照）



次いで年次功労賞では 前会長 小林忠志さんと前副会長の椋茂廣さんが受賞されました。

理事 相模原支部
スタジオアートクリエイト一級建築士事務所
杉本 勝郎



白井会長を挟んで受賞の御兩人



大会出席者と共に

大会終了後は、お祝いの懇親会を座間支部相模原支部幹事にて取り行われ秋の夜長を酔いしれて時間の経つのも忘れた 楽しい宴でした。



懇親会にて

新入会員のご紹介

9月入会者

横浜支部

小田原事務所一級建築士事務所
〒231-0843横浜市本郷町3-167
TEL.045-625-6589 FAX.045-625-6589

小田原 勉

寺嶋建築研究所一級建築士事務所

〒227-0063横浜市青葉区榎が丘45-55
TEL.045-982-0827

寺嶋 修康

湘南三浦支部

有限会社マジックバス・ビルディングワークショップ
一級建築士事務所
〒249-0003逗子市池子2-19-1215
TEL.046-872-5545 FAX.046-872-5545

三輪 数比古

県西支部

OCHOUSE設計事務所
〒250-0875小田原市南鴨宮1-16-14-1
TEL.0465-46-0555 FAX.0465-46-0608

駕海 幸司

退会者

横浜支部

栗山建築設計
竹内二級建築士事務所

栗山 定義
竹内 俊雄

川崎支部

株式会社創建一級建築士事務所

渡邊 知一郎

藤沢支部

株式会社solasio一級建築士事務所

畠山 昌彦

平塚支部

内海一級建築設計事務所

内海 亮洋

厚木支部

株式会社エンラージ設計一級建築士事務所

石田 祐一

変更

川崎支部

有限会社LA総合設計事務所
(事務所所在地変更)
〒220-0012横浜市西区みなとみらい3-7-2 ブランズタワーみなとみらい2108

厚木支部

株式会社タカノ建築設計事務所
(指定代表者変更) 佐藤 順一

船戸構造設計
(指定代表者名表記、事務所所在地、TEL、FAX変更)
船戸 義郎
〒243-0122厚木市森の里2-28-13
TEL.046-210-7336 FAX.046-248-2408

座間支部

東亜レジン株式会社一級建築士設計事務所
(指定代表者変更) 明石 敦

賛助会新入会員

積水テクノ成型株式会社
株式会社JFDアドバンスサーバイ
株式会社アンデン東京

賛助会退会者

会 勢

支部名	平成30年10月15日現在				
	平成30年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 濱	257	259	8	6	2
川 崎	107	108	2	1	1
横 須 賀	53	53	0	0	0
湘 南 三 浦	17	18	1	0	1
藤 沢	43	42	0	1	-1
鎌 倉	41	40	0	1	-1
茅ヶ崎寒川	17	17	0	0	0
平 塚	23	22	0	1	-1
秦 野	16	16	0	0	0
伊 勢 原	6	6	0	0	0
大和綾瀬	18	18	0	0	0
厚 木	29	28	0	1	-1
座 間	15	15	0	0	0
海 老 名	16	16	0	0	0
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	70	70	2	2	0
県 西	40	41	1	0	1
合 計	774	775	14	13	1
賛助会員	92	99	7	0	7

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

今年の夏、平成28年4月に発生した地震により大きな被害を受けた熊本城を訪ねた。現在は、被害を受けた城内の数カ所を完全な場所から見学できるコースが公開されている。コースを進みながら崩壊した櫓や石垣に驚かされ、言葉も出ないが、テレビでよく映されていた「一本石垣」の櫓と石垣は解体が終わっていた。天守閣の復旧工事では、「異次元の姿に変身」「トランスフォーム？」といった感想が出るような衝撃的な姿だ。これからの工事で刻々と変化していくだろうと非常に興味深く見学できた。また、石垣の石ひとつひとつに番号を振っている最中で、至る所に石がきちんと並んでいた。この風景も今だけ観られるものだ。ぜひ、熊本城の工事風景を観に行ってもらいたい。

〈川崎支部 赤川 真理〉



かながわ 平成30年11月号 (通号417号)

発行 平成30年11月1日 (奇数月1日発行)
 発行人 白井 勇
 発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F
 TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 西倉 哲夫
 ・ 広報情報委員長 杉本 勝郎
 ・ 広報情報副委員長 相原 聡
 ・ 広報情報委員 雨森 隆子 赤川 真理 小山 将史
 ・ 田代 智子 田中 敦史 仙波 弦
 ・ 石川 勝彦 神尾 明美
 ・ 事務局 久保田 千尋



今月の表紙

箱階段のある家

箱階段は階段簀簾（だんす）とも言われ、江戸中期から明治初期の建物に見られます。

相模原にある登録有形文化財の旧中村家も幕末期の建物で、美しい箱階段が現存します。登りは良いのですが、下るときは、ちょっと怖い味のある階段でした。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association